

2021年4月28日

整形外科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 橈骨遠位端関節内骨折に対する術後成績の検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部 加地良雄

[研究の目的]

橈骨遠位端関節内骨折の手術では橈骨遠位端の形状を整えると同時に関節面に生じた裂隙(gap)や段差(step off)を整復することが、将来の変形性関節症の発生予防に重要です。当院ではこれらを矯正するために関節鏡を用いた関節の整復や、縫合糸を用いたgapの縮小などを行っています。本研究の目的は橈骨遠位端関節内骨折の術後の橈骨遠位端形状、関節面の整復状況、臨床成績等を調査することです。

[研究の方法]

対象となる患者さん

橈骨遠位端関節内骨折の患者さんで、2011年1月1日から2021年4月30日の間に当院及び協力研究施設のキナシ大林病院、榎村病院、オサカ病院整形外科で手術を受けた方。

利用する検体・診療情報

診療情報：診断名、診断日、年齢、性別、身体所見(基礎疾患)、検査結果(X線検査、CT検査、理学所見、手関節機能評価検査)、治療開始日時、手術施行日時

[外部からの検体・診療情報の提供]

利用する診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、下記の研究組織より提供されます。

[研究組織]

香川大学附属病院リハビリテーション部 加地良雄

キナシ大林病院 院長 真鍋健史

榎村病院 院長 榎村重樹

オサカ病院 院長 森川健一郎

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院リハビリテーション部

担当医師 加地良雄

電話 087-891-2195 FAX 087-891-2196